

宮古島の農業および農業関連産業の推進に関する協定を4者で締結

～宮古島に關係の深い4者それぞれが持つ資源などを活用して、農業および農業関連産業の発展に協力します～

宮古島市
 学校法人東京農業大学
 東京急行電鉄株式会社
 宮古観光開発株式会社

宮古島市、学校法人東京農業大学(以下、東京農大)、東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)、宮古観光開発株式会社(以下、宮古観光開発)は、宮古島の気候・環境に適した農作物の選択、栽培方法などの確立、およびその加工商品開発を目指し、宮古島の農業および農業関連産業の推進に関する協定を締結しました。また、協定の一環として、西アフリカや熱帯アジア、オセアニアなどで重要な食糧資源となっている「熱帯産ヤムイモ」の生産・加工・販売に取り組めます。

宮古島は、台風の常襲など、農業を営む上で厳しい自然環境にあるものの、農業は観光産業とともに重要な産業の柱となっています。地域経済の活性化に寄与するため、宮古島に關係の深い4者それぞれが持つ資源などを活用して、農業および農業関連産業の発展に協力します。

<主な協定内容>

<提携・協力事項>

1. 宮古島の気候、環境に適した作物の栽培
2. 宮古島の気候、環境に適した作物を原料とした加工商品の試験的な生産
3. 宮古島の気候、環境に適した作物およびそれを原料とした加工商品の試験的な出荷
4. 宮古島の気候、環境に適した作物およびそれを原料とした加工商品の情報発信および対外的紹介活動
5. その他宮古島農業の情報発信および対外的紹介活動の推進

<各者の役割>

- ・宮古島市は、本活動を宮古島市民に周知させるために必要な場および媒体を提供する。
- ・東京農業大学は、研究材料、種苗などを提供し、土壌・用水・肥料等の改良に必要な検査・試験を実施する。
- ・東急電鉄は、活動の実施場所、農業機械を提供する。また、商品開発、販路開拓に必要な経営資源を提供する。
- ・宮古観光開発は、農場において、本活動の対象作物の栽培管理に要する労務を提供する。

今後、宮古島市において、東急電鉄および宮古観光開発が東京農大の指導のもと、農場での農作業などに取り組むほか、加工商品の開発や販路の開拓など、関連分野での貢献を目標に、農業および農業関連産業の推進を4者で進めていきます。

以上

(参考)この資料は本日、国土交通記者会、農林記者会にお届けしています。

本リリースに関するお問い合わせ先

宮古島市	農林水産部次長	村吉	電話:0980-76-6840
学校法人東京農業大学	副学長	豊原	電話:03-5477-2404
	宮古亜熱帯農場 准教授	菊野	電話:0980-77-8393
東京急行電鉄株式会社	社長室 広報部 広報課	矢澤・柳澤・田中・長谷	電話:03-3477-6086
宮古観光開発株式会社	支配人	前泊	電話:0980-76-3232